

地上デジタル防水テレビ 20 型

XL-202

取扱説明書



- この度は当社製品をご購入いただきまして、誠にありがとうございました。本取扱説明書は、本製品を安全にご使用いただくために重要な注意事項と安全なお取扱方法を示しております。本取扱説明書を事前によくお読みの上、ご使用ください。
- 本取扱説明書をお読みの後も、必ず製品保証書と一緒に大切に保管してください。

目次

●安全にお使いいただくために	2
●本製品について	5
●B-CASカードについて	6
●地上デジタル放送について	7
●B-CASカード使用許諾契約約款	8
●付属品一覧	9
●各部の名称	10
●システム図	10
●ご使用上の注意	11
●防水についてのご注意	11
●リモコンについて	12
●リモコンの操作	13
●テレビを見るには	14
●ビデオ・DVDを見るには	15
●設定メニュー	16
●音響モード	16
●画質設定	17
●地上デジタル設定	17
●初期化	17
●オフタイマー設定	18
●地上デジタル設定	19
●受信設定	19
●地上デジタルのアンテナ受信レベルを最適に調整する	20
●機器設定	21
●各種情報表示	21
●テスト	21
●EPG（電子番組表）	22
●外部機器との接続について	22
●地域設定一覧	23
●故障かな？と思ったら	24
●バックライトについて	25
●製品仕様	25
●保証とアフターサービス	26

●安全にお使いいただくために

この度は地上デジタル防水テレビをご購入いただきまして、誠にありがとうございました。
製品をご使用前に本取扱説明書をお読みになり内容をよくご理解の上、必ず注意事項をお守りください。
尚、本取扱説明書では誤った取り扱いにより生じるお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、次の表示で区分を説明しております。

□本取扱説明書で使用している表示と意味

	警告 この表示の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重症を負う可能性がある場合に表示します。
	注意 この表示の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者がけがをしたり、物的損害が発生する可能性がある場合に表示します。

	危険、警告、注意を示しています。
	禁止行為を示しています。記号の中に具体的な内容が描かれています。
	必ず行わなければいけない行為を示しています。記号の中に具体的な内容が描かれています。

	警告 以下の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重症を負う危険が想定されます。
□製品の取り扱いについて	
	本製品を使用する場合、取り扱い及び取り外しをする場合は、必ず本取扱説明書の注意事項をご確認ください。また、記載されている警告、注意事項は必ずお守りください。
	本製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。破損の状態のままご使用を続けると、火災や感電、故障の原因となります。すぐに電源スイッチをオフにしてご使用を中止し、お買い上げの販売店または当社お客様サポートセンターにご相談ください。
	本製品の内部に液体、異物を入れないでください。その状態のままご使用を続けると、火災や感電、故障の原因となります。すぐに電源スイッチをオフにしてご使用を中止し、お買い上げの販売店または当社お客様サポートセンターにご相談ください。
	本製品の改造・分解を行わないでください。事故や火災、感電の原因となります。
	本製品は当社以外での修理を行わないでください。
	本製品を火中に投入しないでください。破損による火災・けがの原因となります。
	水の中でのご使用は感電や故障の原因となります。
	誤って水中に落とした場合、感電の原因となりますので、すぐに拾い上げてください。
	本製品を電子レンジなどの強い電磁波が発生するものに入れないでください。事故や火災、感電の原因となります。



警告

以下の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重症を負う危険が想定されます。

□製品の設置について



水中に落ちる恐れのある場所に置かないでください。
水中に落ちた場合、火災や感電、故障の原因となります。

□製品の異常について



万一本製品より煙が出る、異臭が発生する、発熱している、異物が入ったなどの異常が見られる場合には、すぐに電源スイッチをオフにしてご使用を中止してください。
異常状態のままご使用を続けると火災や感電、故障の原因となります。
ご購入いただいた販売店または当社お客様サポートセンターにご相談ください。

□外部機器との接続について



外部機器への接続（ケーブルの接続）は濡れた手で行わないでください。
火災や感電、故障の原因となります。

□電源ボックスについて



必ず本製品付属の指定品をお使いください。



電源ボックスはAC100Vです。指定電源電圧でお使いください。
指定電源電圧以外で使用すると、火災や感電、故障の原因となります。



日本国外での使用は行わないでください。
海外などで異なる電圧を使用すると、火災や感電、故障の原因となります。



電源ボックスの取り外しをするときは、本体の電源をオフしてから行ってください。
故障の原因となります。



電源ボックスのコードの加工や、重いものを乗せる、ストーブなどの熱器具へ近づける、加熱するなどの行為は行わないでください。コードが切断・損傷し火災や感電の原因となります。



濡れた手で電源ボックスを触らないでください。感電や故障の原因となります。



電源ボックス上、または付近に液体の入ったものを置かないでください。



注意

以下の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、使用者がけがをしたり、物的損害が発生する可能性があります。

□製品の取り扱いについて



シンナー、ベンジン等の有機溶剤や化学製品で本製品を拭かないでください。塗装がはがれて付着したり、樹脂部が溶ける原因となります。



定期的なクリーニングを行ってください。
製品内部にホコリがたまった場合、火災や故障の原因となります。



通風口を塞がないようにしてください。
通風口を塞いだ場合、製品内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。



通電中の本製品に長時間触れないで下さい。低温やけどやけがの原因となります。



表示中の画面を長時間継続して見ないで下さい。目が疲れたり、視力が低下する恐れがあります。
長時間見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに使用を中止し休息をとってください。
万一休息しても不快感や痛みが取れない場合には医師にご相談ください。

□製品の設置について



本製品が落下したり、転倒したりする恐れのある不安定な場所、振動の発生する場所に置かないでください。
けがや故障の原因となります。



「設置説明書」をご覧になり、本製品が正しく取り付けられていることをご確認ください。
誤った取り付け状態でご使用の場合、本製品が落下して、けがや故障の原因となります。



強い磁界や静電気が発生する場所に置かないでください。火災や感電、故障の原因となります。



漏電の発生する危険箇所場所に置かないでください。火災や感電、故障の原因となります。



ホコリや油煙の多い場所や直射日光の当たる場所に置かないでください。
火災や感電、故障の原因となります。

□液晶画面について



液晶画面を強く押したり、強い衝撃を与えないで下さい。液晶画面が破損して、けがや故障の原因となります。



液晶パネルが破損した場合、内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となります。
万が一口に含んでしまった場合、すぐにうがいをして医師にご相談ください。
目に入ったり、皮膚に付着した場合、清浄な流水で15分以上すすいだあと医師にご相談ください。

●本製品について

デジタル放送には、地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送があります。地上デジタル放送とは、UHF 帯を使用したデジタル放送のことです。デジタル放送は、従来のアナログ放送に比べて画像が多重に画面に映ることなどの障害が起こりにくく、より新鮮な映像、高音質な音声で番組を楽しめます。

本製品は、地上デジタル放送のみ対応しております。
(BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送をご覧になることは出来ません)
アナログ放送は受信できません。
本製品は周波数変換パススルー、字幕放送、EPG に対応しております。
データ放送や双方向サービスに対応していません。

地上デジタル放送を見るために必要な条件

●地上デジタル放送を受信するには、下記の条件が全て整っていることが必要です。

1 地上デジタル放送受信エリアについて

◎お住まいの地域が地上デジタル放送の受信エリアとなっているか確認してください。
受信エリアについては、社団法人 デジタル放送推進協会のホームページでご確認ください。

社団法人 デジタル放送推進協会 <http://www.dpa.or.jp/>

2 アンテナについて

◎地上デジタル放送の受信には、地上デジタル放送対応の UHF アンテナが必要です。

VHF アンテナでは受信できません。

◎お住まいの地域で、地上デジタル放送と地上アナログ放送の送信塔がそれぞれ同じ方向の場合はアンテナの向きを変えずに地上デジタル放送を受信できます。送信塔が違う方向の場合は、アンテナの向きを地上デジタル放送の送信塔の方向に変更する必要があります。

3 受信強度について

◎地上デジタル放送の受信エリア内であっても、山やビルのかげなどによって電波がさえぎられる場合や電波の伝搬状況などにより、視聴できない場合があります。

ケーブルテレビまたは、共聴・集合住宅施設でご視聴の方は、ケーブル事業者または共聴施設管理者にお問い合わせください。

B-CASカードについて

B-CASカードは、デジタル放送の番組の著作権保護などに利用するカードです。
地上デジタル放送を受信する上で必ず必要になります。

- 本製品に内蔵されているB-CASカードには1枚ごとに異なる番号（ID番号）が付与されています。
ID番号は大切な番号なので、ご確認のうえ、必ず控えておいてください。ID番号につきましては、本体画面に貼ってあるシール（7ページ参照）または、メニュー画面（21ページ参照）よりご確認ください。

B-CASカードに関するお問合せ先

B-CASカードや、B-CASカードのユーザー登録についてご不明な点は、下記のB-CASカスタマーセンターへお問い合わせください。

（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター
電話番号 0570-000-250 受付時間 10:00～20:00（年中無休）

※電話番号はお間違えのないようお願いいたします。

※携帯電話、PHSなどの移動体通信機器および各種LCRや交換機の設定によってはかからない場合があります。

取り扱いについての注意

- 放送局などへのお問い合わせで、B-CASカードのID（識別）番号の告知が必要になる場合があります。お客様のB-CASカードの番号は控えておいてください。
- 内蔵されているB-CASカードの所有権は、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあります。無断で譲渡できません。
- B-CASカードのユーザー登録や、受信契約については、B-CASカード使用許諾契約約款をよくお読みください。
- 約款違反となりますので、本製品を分解してB-CASカードを取り外さないでください。

地上デジタル放送について

はじめに

2004年4月より放送番組著作権保護の為、地上デジタル放送を視聴するためには【B-CASカード】が必要になりました。本製品はこのB-CASカードがあらかじめ内蔵されています。

B-CASカードの詳細については、6ページをご参照ください。

B-CASカードの所有権は（株）ビーエス・コンディショナルシステムズに帰属します。

お客様は8ページ『B-CASカード使用許諾契約約款』に基づいてこのカードを使用することができます。この約款をお読みいただき、以下の動作を行うことで、簡単に地上デジタル放送を楽しむことができます。操作方法を間違った場合は電源を入れなおして、再度操作を行ってください。

手順 1

取扱説明書 8 ページに記載されているB-CASカード使用許諾契約約款をお読みください。

手順 2

「B-CASカード使用許諾契約約款」同意画面

取扱説明書に記載されているB-CASカード使用許諾契約約款をお読みください。次のページの操作を行うとB-CASカード使用許諾契約約款に同意とみなされ、地上デジタル放送が視聴できます

「▼」を押して次の画面に進んでください。

本体の電源を入れると、左記の画面が表示されます。本体の「▼」を押して次の画面にお進みください。

「B-CASカード使用許諾契約約款」同意画面
操作は、メニューボタン押下後、20秒以内で行ってください。
メニューボタンを押す

「メニュー」ボタンを押す
「◀」ボタンを押す
「▶」ボタンを押す
「メニュー」ボタンを押す

※操作方法を間違った場合は電源を入れ直して再度操作を行ってください。

左記の画面が表示されるので、リモコンメニューボタン押下後、20秒以内に以下の操作を行ってください。

1. 「メニュー」ボタンを押す
2. 「◀」ボタンを押す
3. 「▶」ボタンを押す
4. 「メニュー」ボタンを押す

以上の操作を行うとB-CASカード使用許諾契約約款に同意とみなされ、地上デジタル放送が視聴できます。

お客様がお買い求めのデジタル放送受信機器（以下「受信機器」という）には、地上デジタルテレビジョン放送を受信するためのICカード（ビーキャスト(B-CAS)カード)(以下「カード」という)が内蔵されています。このカードは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（以下「当社」という）が、この約款の契約（以下「本契約」という）に基づいてお客様に貸与するものです。お客様は、受信機器を使用する前にこの約款を必ずお読みください。当社は、B-CAS方式の限定受信システム(CAS)やカードを統一的に運用・管理するためにBSデジタル放送の放送事業者等により設立された会社です。詳しくは当社のホームページ(<http://www.b-cas.co.jp>)をご覧ください。当社へのご連絡やお問い合わせはカスタマーセンター（電話0570-000-250）までお願いします。

第1条（カードの使用目的）

このカードには受信機器を制御する集積回路(IC)が内蔵されており、地上デジタルテレビジョン放送の番組の著作権保護等に利用されています。このカードは、地上デジタルテレビジョン放送の各種放送サービス（以下「放送サービス」という）を受信するために必要となります。

第2条（カードの所有権と使用許諾）

お買い求めの受信機器に内蔵されているカードの所有権は、当社に帰属します。

2. お客様は、本契約に基づき、受信機器に内蔵されているカードを使用することができます。

第3条（カードの故障交換等）

カードに起因すると推測される受信障害が発生した場合は、受信機器のメーカーあるいは販売店（以下「メーカー等」という）に連絡してください。カードの故障交換等は、お買い求めの受信機器の修理・保障に準じて、メーカー等により行われます。（詳しくは受信機器の取扱説明書をご覧ください）

2. 当社に故意または重大な過失があった場合を除き、カードの故障により、放送サービス等が受信できないことによる損害が生じても、当社はその責任を負いません。

第4条（カードの交換依頼）

カードの不具合やシステム変更（バージョンアップ）等、当社の都合によりカード交換が必要となった場合、カード交換をお願いすることがあります。

第5条（ユーザー登録）

前条のカード交換依頼の連絡等のためにユーザー登録を希望するお客様は、当社のホームページから必要事項を入力していただく方法、または当社に連絡してユーザー登録用紙を取り寄せていただく方法により、登録をしてください。ユーザー登録は任意です。

2. 当社は、お客様からのユーザー登録情報を別に定めるガイドライン（当社ホームページより参照）に従って厳格に取扱います。

第6条（契約の終了）

当社は、受信機器の廃棄等によりカードが使用されなくなった場合、もしくは受信機器の譲渡等によるカード使用者が変更になった場合には、お客様との契約が終了したものとみなします。

第7条（禁止事項）

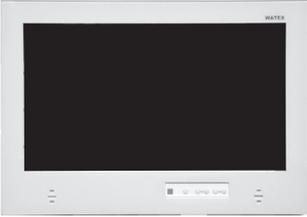
お客様は、このカードを、お買い求めの受信機器から取り外さないでください。

2. このカードを使用して、BSデジタル放送や110度CSデジタル放送等の有料放送の視聴契約をすることはできません。
3. カードの複製、分解、改造、変改若しくは改ざん、またはカードの内部に記録されている情報の複製若しくは翻案等、カードの機能に影響を与え、またはカードに利用されている知的財産権の侵害に繋がる恐れのある行為を行うことはできません。
4. カードを日本国外に輸出または持ち出すことはできません。

第8条（約款の変更）

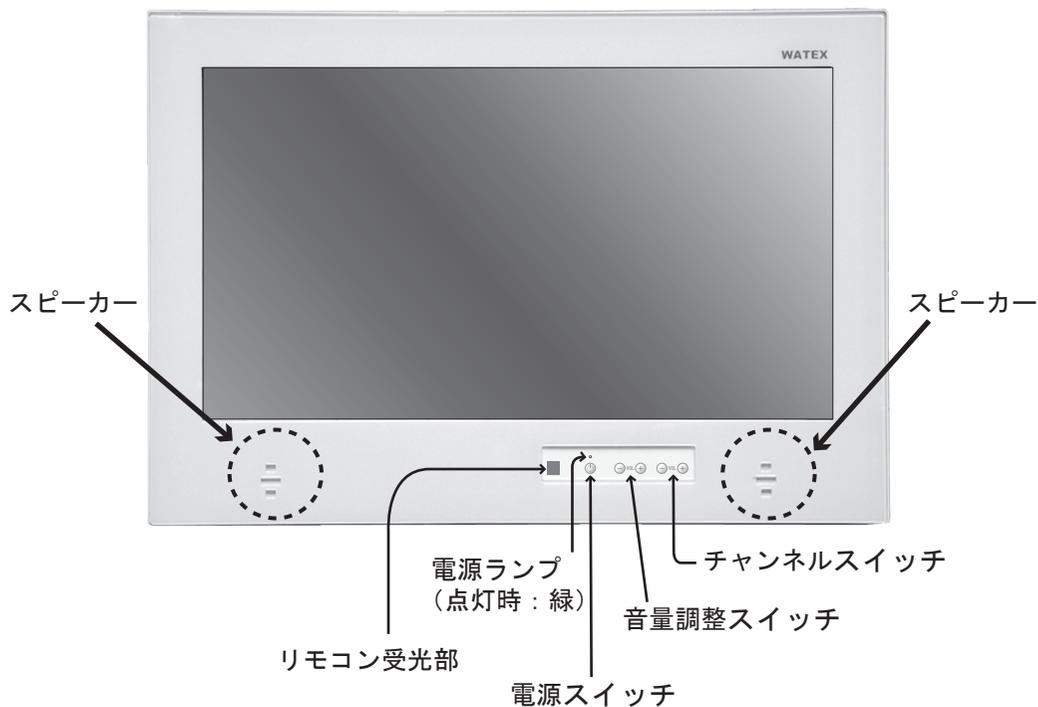
この約款は変更することがあります。この約款の変更事項または新しい約款については、当社のホームページに掲載します。

●付属品一覧

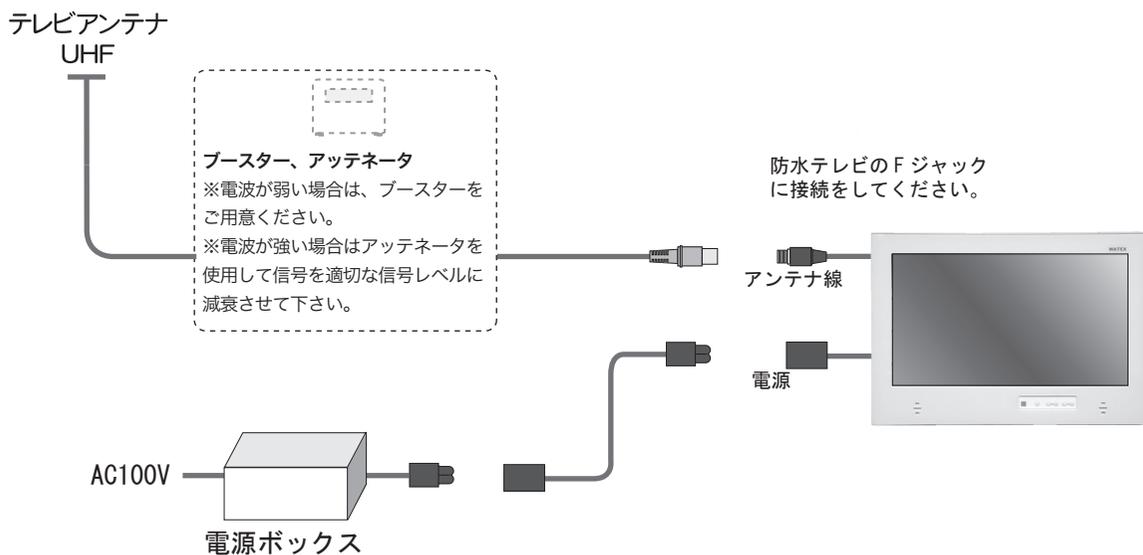
<p>地上デジタル防水テレビ</p> 	
<p>保証書</p> 	<p>専用同軸ケーブル</p> 
<p>専用AVケーブル（オプション）</p> 	<p>電源ケーブル</p> 
<p>防水リモコン</p> 	<p>リモコンホルダー</p> 
<p>電源ボックス</p> 	<p>設置板</p> 
<p>取扱説明書</p> 	<p>設置説明書</p> 

●各部の名称

本体正面



●システム図



●ご使用上の注意

■電源について

- ・指定以外の電源は使用しないでください。

■取り扱い上の注意

- ・お手入れにはベンジンなどの化学薬品は使用しないでください。本体が変形したり、塗装がはがれたりします。汚れのひどいときは柔らかい布を薄い中性洗剤に浸し、硬く絞って拭いてください。
- ・浴室用洗剤が本体にかからないようにしてください。かかった場合には速やかに洗い流してください。
- ・石鹼やシャンプーが付いたときには洗い流してください。
- ・スピーカー部分に、泥や砂が入らないように注意してください。
- ・本体には熱いお湯がかからないようにしてください。又、熱いお湯の中に落とした場合、変形したり故障することがあります。

■極端な温度や日差し強い場所には放置しないでください

- ・窓を閉めきった自動車内、直射日光のあたるところ、暖房器具の近くなどには放置しないでください。本体の変形や、液晶パネルの故障の原因となります。
(保存温度範囲：-10℃～+70℃)
- ・0℃より低温、60度より高温になると映りが悪くなる場合がありますが故障ではありません。常温に戻ると回復します。(動作温度範囲：0℃～60℃)

●防水についてのご注意

本体は日常生活上の防水（IPX6級 耐水相当）が施されており、雨や雪、水しぶきがかかる場所でも使える防水仕様となっておりますが、次の点に十分ご注意の上ご使用ください。

- (1) 水あるいは湯の中には入れないでください。
- (2) 誤ってお風呂の中に落とした場合は、すぐに拾い上げてください。
- (3) 多量の雨や水滴が付いたときには、乾いた布などで十分に拭き取ってください。
- (4) 防水機能を維持するため、定期的に(2年に1度)点検(有償)することをお勧めいたします。

水の中でご使用になると水が浸水します。水の浸入による製品の不良については保証期間内でも保証対象外となりますのでご注意ください。

●リモコンについて



使用上の注意

分解をしないでください。故障の原因となります。

水中に入れたり、中に異物を入れないでください。感電の恐れや故障の原因となります。

温度や湿度の高い場所に長時間放置しないでください。故障の原因となります。

電池の取扱いについて

- ⊕ ⊖ の方向を正しく入れてください。
- 長時間使用しないときは、本体から取出してください。
- 指定以外の電池を使用しないでください。

リモコンが正しく動作しない場合は、以下の項目を実行して下さい。

- 電池を交換してください。
- 電池の ⊕ ⊖ を正しい向きに入れてください。
- テレビ本体の電源スイッチを押してください。
- リモコンの先端部を手などで覆わないように操作してください。
- リモコン使用可能範囲で操作してください。

仕様

動作範囲：約 5m 左右 45° 上下 20°

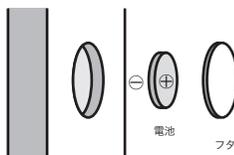
電 源：DC3V リチウム電池 CR2032 1個

仕様及び外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

リチウム電池の入れ方

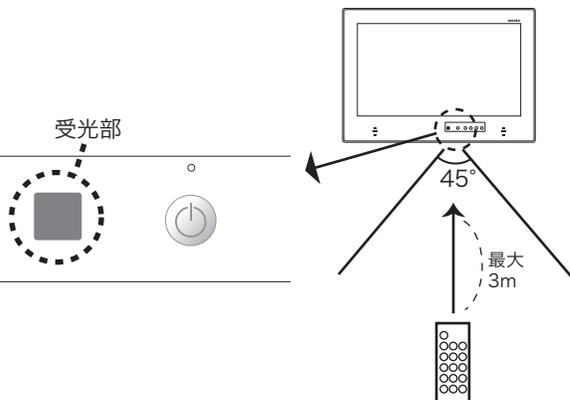


- ① 裏蓋をコインなどで矢印の方向に開けてください。
※裏蓋は非常に傷つきやすいです。
注意して取り扱ってください



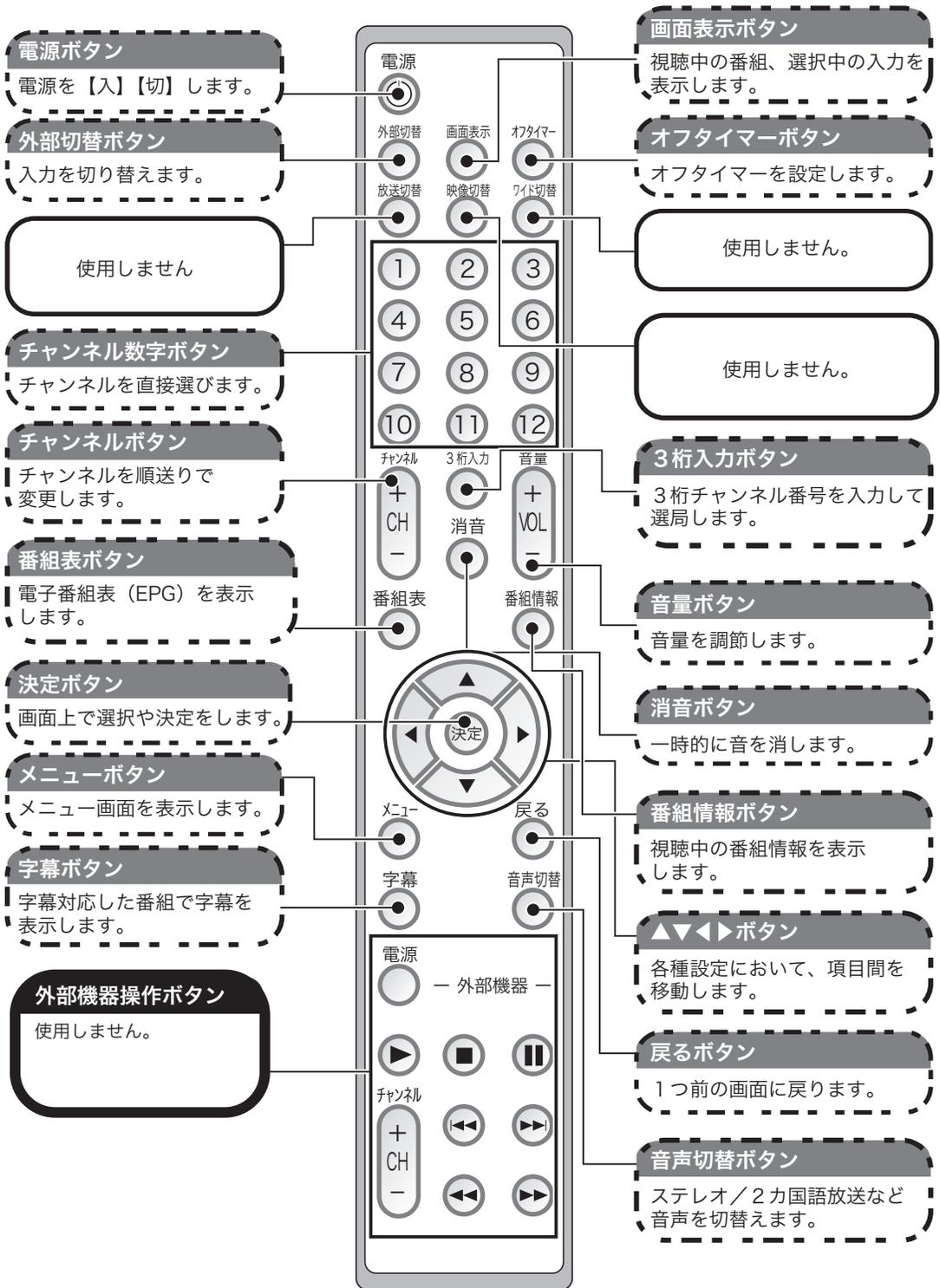
- ② リチウム電池 CR2032 (別売) を、⊕ ⊖ の向きを表示通りに正しく入れてください

使用方法



リモコンを本体のリモコン受光部に向け、受信可能角度（左右 45° 上下 20°）から操作してください。

●リモコンの操作



●テレビを見るには

■見るためには

1. アンテナ線を接続し調整します。

→設置説明書をご覧ください。

2. 電源を入れます。

[本体] 電源スイッチを押します。電源が入った場合、電源ランプが緑色に点灯します。

[リモコン] 電源ボタンを押します。電源が入った場合、電源ランプが緑色に点灯します。

3. 受信可能なチャンネルを設定します。

●出荷時のままでは選局されていません。

リモコンの【メニュー】ボタンを押して【地上デジタル設定】メニューから【受信設定】を選択し、

【地域設定】にてお住まいの地域を設定し、その後【チャンネル自動設定】を実行してください。

(19ページ参照)

4. チャンネル(CH)スイッチでチャンネルを選びます。

[本体] チャンネルスイッチ【+】を押すと、現在のチャンネルより数字の大きいチャンネルに変わり、【-】を押すと小さいチャンネルに変わります。

[リモコン] チャンネルボタン、チャンネル数字ボタン、3桁入力ボタンでチャンネルを選びます。

※選局後、映像と音声の出力までに数秒かかります。

5. 音量調節(VOL)スイッチで音量を調整します。

[本体] 音量調節スイッチ【+】を押すと音量が大きくなり、【-】を押すと音量が小さくなります。

[リモコン] 音量ボタンで調整します。

■見終わったら

1. 電源スイッチを押して電源を切ります。

2. 水滴が付いていた場合、乾いたタオルで本体についた水分を拭き取ります。

●濡れたまま放置すると故障の原因となります。

●ビデオ・DVDを見るには

■見るには

1. 「外部機器との接続について」に従って、ビデオデッキなどを接続します。

→「外部機器との接続について」22ページ参照

2. 電源スイッチを押して電源を入れます。

●電源が入った場合、電源ランプが緑色に点灯します。

3. 「AV」モードにします。

リモコンの【外部切替】を押して、TV→AVに切り替えます。

4. 使用する外部機器を操作します。

※外部機器の操作方法は外部機器側の取扱説明書をご覧ください。

5. 音量調節(VOL)スイッチで音量を調整します。

[本体] 音量調節スイッチ【▲】を押すと音量が大きくなり、【▼】を押すと音量が小さくなります。

[リモコン] 音量ボタンで調整します。

■見終わったら

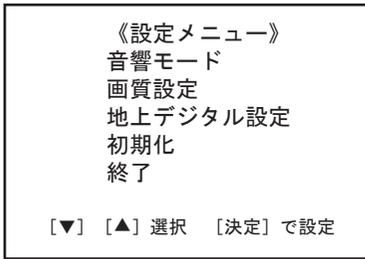
1. ご使用の外部機器の電源を切ります。

2. 本体の電源スイッチを押して電源を切ります。

●設定メニュー

■設定メニューを表示する ⇒リモコンの【メニュー】ボタンを押します。

□画面説明



音響モード：音の設定をします。

画質設定：明るさ、濃淡、色合いの調整をします。（17ページ参照）

地上デジタル設定：チャンネル設定・字幕・音声・B-CAS等

地上デジタル設定メニューを表示します。

（19ページ参照）

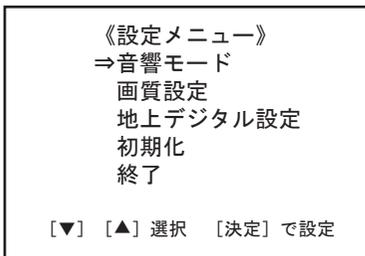
初期化：工場出荷時の設定に戻します。（17ページ参照）

※初期化を行うと全ての設定がリセットされます。

ご注意ください。

□各種設定

◇音響モード

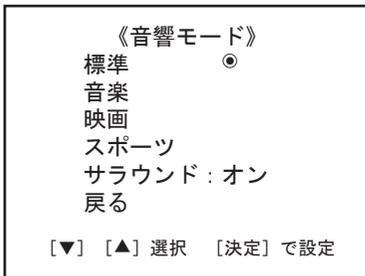


①リモコンの【メニュー】ボタンを押して

[設定メニュー] を表示させます。

②(▲・▼)ボタンを押して矢印を移動し、

「音響モード」に矢印を合わせて【決定】を押します。



③(▼・▲)ボタンを押して矢印を移動し、

調整したい項目を選びます。

④「標準」「音楽」「映画」「スポーツ」を設定する場合

【決定】ボタンでそれぞれ選択してください

サラウンドを設定する場合

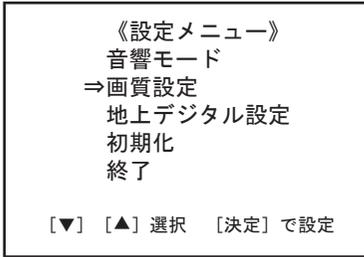
【決定】ボタンで「オン」「オフ」を選んでください。

標準	それぞれのシーンに合わせた音響に調節
音楽	します。ご覧になりたいシーンに合わせ
映画	てお選びください。
スポーツ	
サラウンド	SRSサラウンドのオン・オフを選択します。
戻る	設定メニューに戻ります。

SRS  **WOW** は SRS Labs, Inc. の商標です。

●設定メニュー（続き）

◇画質設定



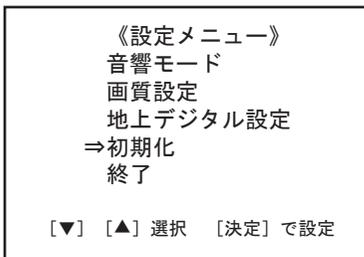
- ①リモコンの【メニュー】ボタンを押して
[設定メニュー] を表示させます。
- ②(▲・▼) ボタンを押して矢印を移動し、
画質設定に矢印を合わせて、【決定】を押します。
- ③(▼・▲) スイッチを押して矢印を移動し、
調整したい項目を選びます。
- ④(◀・▶) スイッチを押して設定値を調整します。

明るさ	画面の明るさを調整します。
濃淡-赤	赤色の濃淡を調整します。
濃淡-緑	緑色の濃淡を調整します。
濃淡-青	青色の濃淡を調整します。
色合い	肌色を調整します。
戻る	設定メニューに戻ります。

◇地上デジタル設定

※【地上デジタル設定】メニューの詳細は19ページ・20ページ
21ページを参照してください。

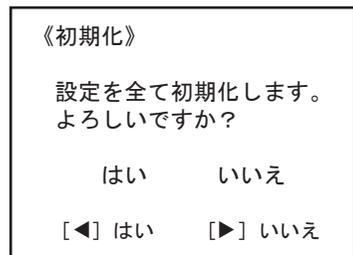
◇初期化 ※初期化を行うと全ての設定がリセットされます。ご注意ください。



- ①(▲・▼) ボタンを押して矢印を移動し、
初期化に矢印を合わせて、
(決定) を押します。

右記のように初期化を実行するかどうかの確認メッセージ
が表示されます。

- はい …設定が全て初期化され、電源が切れます。
([◀]) 再度電源を入れるとB-CAS同意画面が
出てきますので、同意操作を行ってください。
(7ページ参照)
- いいえ…初期化設定を終了します。
([▶])



●設定メニュー（続き）

◇オフタイマー設定

オフタイマーを設定し、指定した時間が過ぎると自動的にテレビを終了します。

オフタイマー
オフ

- ①リモコンの【オフタイマー】ボタンを押します。
- ②画面左上に時間が赤く表示されます。
- ③【オフタイマー】ボタンを押すと
オフ→30分→60分→90分→120分→オフ...
の順に変化します。
- ④オフタイマーの表示が消えると設定完了です。

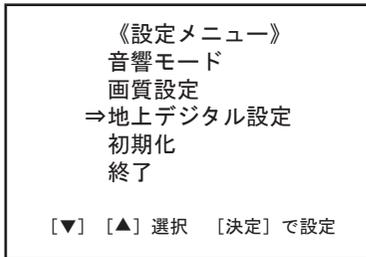
設定が完了した後、【オフタイマー】ボタンを押すと残り時間が表示されます。

※残り時間が1分を切ると自動的に表示されます。

●地上デジタル設定

チャンネル設定、字幕、音声切換、B-CAS情報など、地上デジタルテレビに関する設定を行ないます。

○地上デジタル設定メニューを表示する



- ① リモコンの【メニュー】ボタンを押して、
《設定メニュー》を表示させます。
- ② (▼・▲) でカーソルを『地上デジタル設定』に合わせ、
【決定】ボタンを押します。
画面が切り替わり、『地上デジタル設定』メニューが表示されます。

※「地域設定」を必ず行ってから「チャンネル自動設定」・「チャンネル追加設定」を設定してください。



画面が切り替わります

受信設定	機器設定	各種情報表示	テスト
地域設定			
チャンネル自動設定			
チャンネル追加設定			
リモコン設定			
受信レベル			

お住まいの都道府県を設定します。
(矢印) で選択・(決定) で設定・(戻る) / (メニュー) で終了

(画面操作方法)

- [▲]・[▼]・[◀]・[▶] : カーソル移動
- [決定] : 設定
- [戻る] : 一つ前の画面へ戻る
- [メニュー] : 設定メニューへ戻る
もう一度押すと終了

□詳細説明

<受信設定>

受信設定
地域設定
チャンネル自動設定
チャンネル追加設定
リモコン設定
受信レベル

◎地域設定

地上デジタル放送を視聴するためにお住まいの地域を設定する。(地域一覧は23ページ参照)

◎チャンネル自動設定

受信できるチャンネルをサーチし、ヒットしたチャンネルを本体に設定します。中・小規模中継局にアンテナを向けている場合や、ケーブルテレビでご視聴になる場合、この設定を行ってください。

◎チャンネル追加設定

現在設定されているチャンネルはそのままに、追加でヒットしたチャンネルをセットします。中継される放送局が追加された時にお使いください。

◎リモコン設定

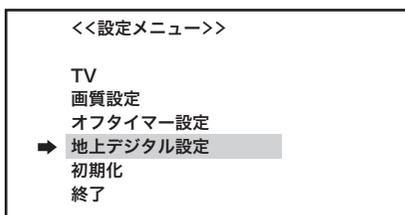
リモコンのボタンに、お好みで放送局を割り当てます。

◎受信レベル

現在受信しているチャンネルの受信レベル(電波の強さ)を棒グラフで表示します。(20ページ参照)

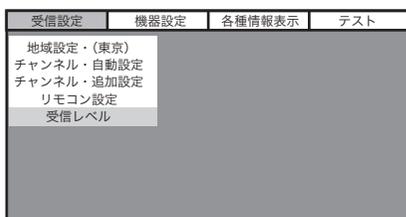
●地上デジタルのアンテナ受信レベルを最適に調整する

1. 地上デジタル設定の選択



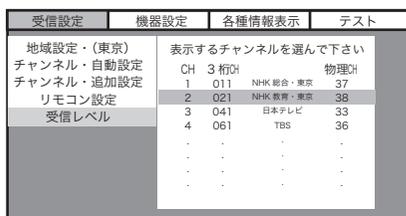
- ①『メニュー』ボタンを押してください
- ②『▲▼』ボタンで『地上デジタル設定』を選択してください
- ③『決定』ボタンで決定してください

2. 受信レベルの選択



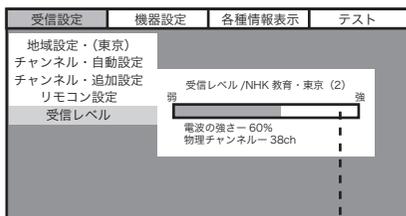
- ①『▲▼』ボタンで『受信レベル』を選択してください
- ②『決定』ボタンで決定してください

3. 受信チャンネルの選択



- ①『▲▼』で適当なチャンネルを選択してください
- ②『決定』ボタンで決定してください

4. アンテナレベルの調整



受信レベルバー

- ①アンテナの方向を調整し、受信レベルの電波の強さを 55%以上にしてください
(アンテナの方向調整方法は、UHF アンテナの取扱説明書をご覧ください)
安定して視聴できる目安は 60%以上です (※)

- ②終了したら『戻る』ボタン『メニュー』ボタンを押して、『受信設定』に戻ってください。

以上で設定は終了です

※受信レベルが 60%以上にならない場合は、ブースタ等を使用して調整してください。

□詳細説明（続き）

<機器設定>

機器設定	
暗証番号	
字幕・文字スーパー	
音声切換	
チャンネル表示	
番組表取得設定	

◎暗証番号

暗証番号の更新を行います。
視聴する人の年齢制限や視聴料金の制限を設定します。
これらの制限を通過するときやPPV番組（有料番組）などを
購入するときに、暗証番号を使います。

※暗証番号は必ずメモしてください。

※初期設定値は『9999』です。

◎字幕・文字スーパー

字幕・文字の表示設定を行います。
表示の有無や第一・第二言語の設定を行います。
（第一・第二言語は放送内容により異なります）

◎音声切換

音声の切換動作を設定します。
主音声・・・主音声を出力します。
副音声・・・副音声を出力します。
主＋副・・・左スピーカー→主音声
右スピーカー→副音声

◎チャンネル表示

チャンネルの表示、非表示を設定します。
表示する・・・チャンネルを表示します。
表示しない・・・チャンネルを表示しません。

◎番組表取得設定

番組表のデータを取得する・しないを設定します。
取得する・・・番組表データを取得します。
取得しない・・・番組表データを取得しません。

◎B-CAS情報

B-CASカードの情報を表示します。
カード識別、カードID、グループIDが表示されます。

◎バージョン情報

ファームウェアバージョンを表示します。

◎放送メール

放送メールを表示します。
放送メールとはデジタル放送を利用して受信機にメールを
送る仕組みです。

<各種情報表示>

各種情報	
B-CAS情報	
バージョン情報	
放送メール	

<テスト>

テスト	
B-CASテスト	
全設定消去	

◎B-CASテスト

B-CASカードの動作が正常かテストを行うこと
が出来ます。

◎全設定消去

工場出荷状態に戻します。
初期化メッセージに同意いたしますと工場出荷の状態
に戻ります。

● EPG（電子番組表）

TV視聴中にリモコンの【番組表】ボタンを押すと、EPG（電子番組表）が表示されます。

※放送局が番組情報を送信していない時は表示されません。また『番組表取得設定』が『取得しない』になっている場合（21ページ参照）は表示されません。

選択中の番組（オレンジ表示）

選択中の番組の放送日・放送時間

番組一覧			
	○/○(○)○:○~○:○		
	NHK教育・東京 021 022 023	日本テレビ 041 042	TBS 061 062
14時	00○○○○○		
15時	○○○○○○○		
16時	20○○○○○		
17時	00○○○○○		

(矢印) 選択(番組情報) 詳細(決定) 選局(戻る/番組表) 終了

(リモコン画面操作方法)

▼▲◀▶: 上下左右にカーソル移動

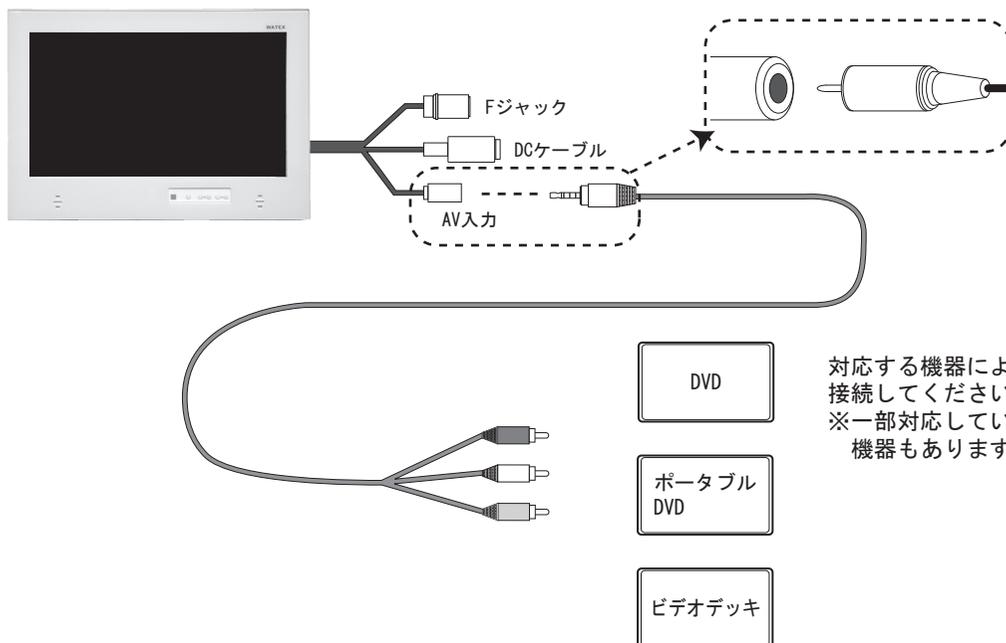
[番組情報]: 選択中の番組内容を詳細表示します

[決定]: 番組に切替えます。

[戻る] [番組表]: EPGを終了します

● 外部機器との接続について

- ・接続ケーブルのAV入力端子に4極φ3.5ステレオミニジャックφ3.5を接続します。
※専用AVケーブルとなります。市販のAVケーブルはご使用できません。



地域設定一覧

日本製品に設定されている地域一覧です。お住まいから近い中継局に設定してください。

地域設定	詳細エリア設定
北海道	札幌、函館、旭川、帯広、釧路、北見、室蘭
東北	宮城、秋田、山形、岩手、福島、青森
関東	東京、神奈川、群馬、茨城、千葉、栃木、埼玉、山梨
信越／北陸	長野、新潟、石川、福井、富山
中部／東海	愛知、静岡、三重、岐阜
近畿	大阪、京都、兵庫、和歌山、奈良、滋賀
中国／四国	広島、岡山、島根、鳥取、山口、愛媛、香川、徳島、高知
九州／沖縄	福岡、熊本、長崎、鹿児島、宮崎、大分、佐賀、沖縄

故障かな？と思ったら

画面に表示されず、音声も出力されない
<ul style="list-style-type: none">・製品本体の電源スイッチを押して、電源を入れ直します。電源が入った後、電源ランプが緑色に点灯していることを確認してください。・外部機器をご使用の場合、接続している外部機器の電源が入っていることを確認してください。・外部機器をご使用の場合、接続している外部機器の配線が正しいことを確認してください。・入力モードは合っていますか？TV/AVの入力モードを確認してください。
音声は出力されるが、画面が出ない
<ul style="list-style-type: none">・外部機器をご使用の場合、接続している外部機器の配線が正しいことを確認してください。・『明るさ』、『濃淡』、『色あい』を調整してください。
画面は表示されるが、音が出ない
<ul style="list-style-type: none">・外部機器をご使用の場合、接続している外部機器の配線が正しいことを確認してください。・製品本体の音量調節スイッチを押して、音量を上げてください。
映像や音が出ない（TV）
<ul style="list-style-type: none">・アンテナ接続時はアンテナが接続されているか確認してください。また、アンテナがUHFアンテナであるか確認してください。VHFアンテナでは受信できません。・アンテナの向きが地上デジタルテレビ放送を送信している中継局へ向いているか確認してください。・ケーブルテレビで接続している場合、ご契約のケーブルテレビ会社が周波数パススルー（全帯域）方式に対応しているかをご確認ください。トランスモジュレーション方式の場合はSTB（セットトップボックス）を接続してください。
特定のチャンネルの受信ができない
<ul style="list-style-type: none">・チャンネル設定が正しく行われているか確認してください。また、チャンネル追加設定で再度チャンネルサーチを行ってみてください。・中継局によっては、一部チャンネルのみ送信している場合があります。中継局の送信状況についてはお買い上げの販売店へお尋ねください。・L M帯アンテナ（13ch～44ch）や、MH帯アンテナ（31ch～62ch）をご使用の場合、一部チャンネルが受信できません。UHF全帯域アンテナ（13ch～62ch）をご使用ください。ご使用のアンテナがどの種類かわからない場合は、アンテナ取付業者様にお問い合わせください。
本体の電源が勝手に切れてしまう
<ul style="list-style-type: none">・オフタイマーがセットされていないことを確認してください。
製品本体の電源が入らない
<ul style="list-style-type: none">・製品本体の電源スイッチを押して、電源が入ることを確認します。電源が入った後、電源ランプが赤色に点灯していることを確認してください。
映像の映りが悪い、画面に縞模様が入る、音声にノイズが入る
<ul style="list-style-type: none">・アンテナの向きは中継局の方向へ向いていますか？方向がずれていると映りが悪くなります。アンテナ調整は専門業者にご依頼ください。・パソコン・携帯電話・AV機器・無線局等、磁極を発生する機器の近くで使用している場合、ノイズが発生することがあります。これらの機器を本製品から離してください。
モノクロで表示される、色合いが悪い
<ul style="list-style-type: none">・『濃淡』、『色あい』を調整してください。
画面が明るすぎる、または暗い
<ul style="list-style-type: none">・『明るさ』を調整してください。
画面が曇っている
<ul style="list-style-type: none">・常温の室内に数時間放置しても曇りが取れない場合は、お買い上げの販売店または当社お客様サポートセンターにご相談ください。

●バックライトについて

バックライトに使用されているLEDには寿命があります。表示画面が暗くなったり、ちらつきがある場合には当社お客様サポートセンターまでご相談ください。有償にて交換承ります。
なお、LEDの寿命は約20,000時間です。

●製品仕様

製品名	XL-202
種類	地上デジタル防水テレビ 20型
受信チャンネル範囲	日本国内地上波デジタル放送 UHF(13~62)CATV(1~12,C13~63)
受信感度	使用地域の電波状況による
表示器	TFT LCD
画素数	1366(H)×768(W) 画素
アンテナ	各種アンテナ接続
音声方式	ステレオ / サラウンド
スピーカー	防水タイプ(φ40,8Ω,1W) 2個
接続端子	1系統(F型ジャック)
使用電源	AC100V
定格周波数	50/60Hz
防水機能	IPX6級耐水相当
消費電力	55W
動作温度	0°C~+60°C
保存温度	-10°C~+70°C
本体外形寸法	幅 525mm×高さ 368mm×奥行き 62mm
質量	約 7kg(本体)
付属品	専用同軸ケーブル 専用AVケーブル(オプション) 電源ケーブル リモコン リモコンホルダー 電源ボックス 設置板 取扱説明書 設置説明書 保証書

※¹液晶パネルは非常に高精度な技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、予めご了承下さい。

(注)本製品の外観・仕様等は改良のため予告なく変更することがあります。

●保証とアフターサービス

□保証書

- ・本製品には保証書が添付しております。お買い上げの際に必ずお買い上げ店よりお受け取り下さい。
- ・内容ならびにお買い上げ店名・お買い上げ日の記載があることをお確かめの上、大切に保管してください。
- ・本保証書を紛失した場合は、保証書の再発行は行っておりませんので予めご了承下さい。
- ・本製品の保証期間はお買い上げ日より起算して満1年間です。
- ・保証期間中に修理等をご依頼の場合には、保証書のご提示が必要です。保証書のご提示が無い場合、有償での修理となる場合がございます。
- ・本保証書は日本国内においてのみ有効です。

□アフターサービス

本製品の修理をご依頼される前に、まず本取扱説明書に従って正しく操作を行い、いま一度お確かめ下さい。確認をしていただきそれでも不具合が改善されない場合には、次の処置をしてください。

●保証期間中の修理について

保証書・取扱説明書の記載事項に沿った正常なご使用状態下で万が一不具合が発生した場合、当社保証規定に基づき無償にて不具合箇所の修理等対応をさせていただきます。

製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にお持ちいただくか、または当社お客様サポートセンターへご送付下さい。但し、不具合原因が不当な分解や改造、取扱説明書の記載事項を無視したお取り扱いによる結果のものと判明した場合、有償修理とさせていただきます。

修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

●製品の保証範囲

製品の保証は、製品同梱の付属品を使用し、保証書・取扱説明書の記載事項に沿った正常なご使用状態下でのご使用に限り有効です。

万が一正常な使用状態下でのご使用で不具合が発生した場合、当社保証規定に基づき不具合箇所の修理等対応をさせていただきます。

但し、下記の場合には保証期間内でも無償修理が受けられません。

- ・製品と本保証書のご提示が無い場合。
- ・本保証書の所定事項の未記入・複製・改ざんがある場合。
- ・お買い上げ後の輸送・移動時の落下または衝撃等、お取り扱いが適正でない場合に生じた故障・破損の場合。
- ・お客様による不当な分解や改造、取扱説明書の記載事項を無視したお取り扱いにより生じた故障・破損の場合。
- ・当社以外で修理・部品交換などのメンテナンスを行った場合。
- ・火災・地震・落雷・塩害・風水害等の天変地異、公害や異常電圧などの外部要因により生じた故障・破損の場合。
- ・日本国外でのご使用の場合。
また、下記の場合には免責事項として保証範囲に含まれません。
- ・保証書・取扱説明書の記載事項に沿った正常なご使用状態下で消耗部品が自然消耗もしくは磨耗した動作不具合の場合。
- ・お客様で追加接続した、付属品以外の周辺機器との間に生じる動作不具合の場合。
- ・本製品の故障および操作不具合・本製品の使用または関係することにより生じた損失に対して、継続または特別的、直接または間接的に関わらず責任を負いかねます。

□修理・保証内容のお問い合わせ先

〒373-0015 群馬県太田市東新町32

株式会社ワータックス お客様サポートセンター係

T E L : 0120-25-3930 (フリーダイヤル)

F A X : 0276-25-2631

E - m a i l : support@watex-net.com

受付時間 : 月～金 8 : 30～12 : 00 / 13 : 00～17 : 30

(土日祝祭日・年末年始などの定休日ならびに特別休業日を除く当社営業日)

ホームページ : <http://www.watex-net.com>

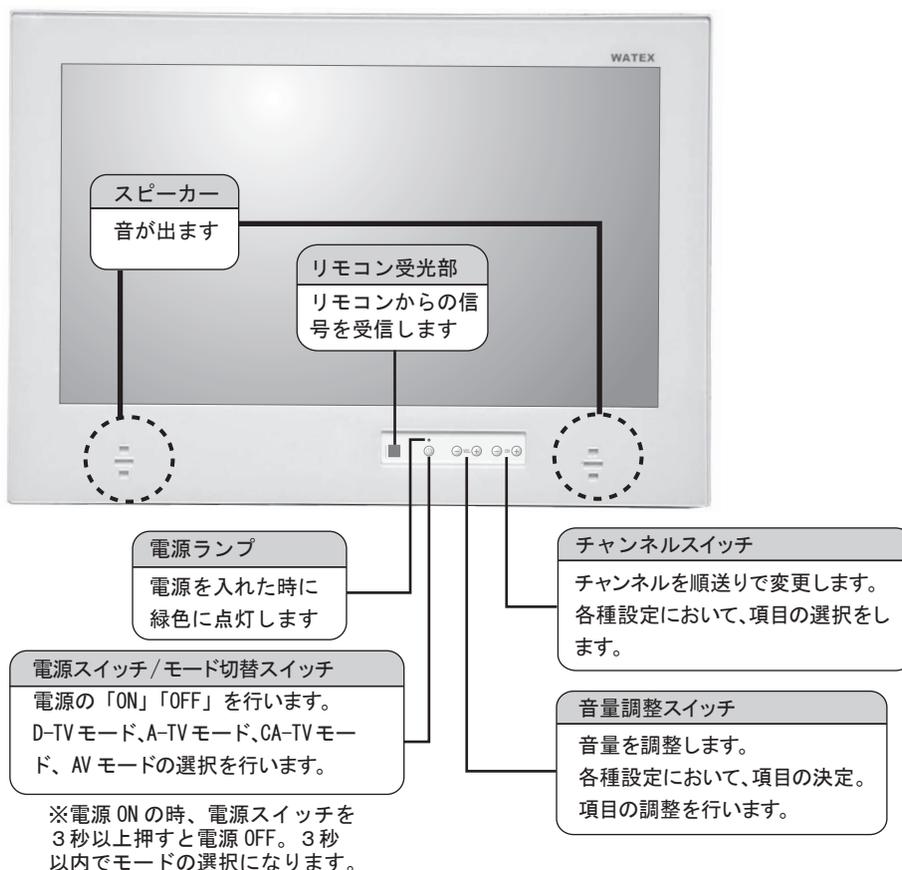


この度は地上デジタル防水テレビ20型をご購入いただきまして、誠に有難うございました。
製品をご使用前に本取扱説明書をお読みにになり内容をよくご理解の上、必ず注意事項をお守り下さい。

注意

- ・「画質設定」を設定する際、数値は0にしないでください。電源を再度入れた際、画面が見つらなくなるのを防ぐためです。
- ・「起動モード」の「AVモード」をオフにすると、AVモードが表示されなくなります。

各部の名称



メニュー設定

パスワードを入力して下さい。
[----]

- お客様によるメニュー設定の変更を防ぐため、メニュー変更にはパスワードが必要になります。
- パスワードの入力値は「1234」です。
※入力値の変更は出来ません。

2009年度版
しんきゆう券

ワテックス XL-202-H
CHECK!

省エネ型の
新製品に
買換えて
CO2を減らそう!

ハロー! 環境技術

2009年度版
この商品の省エネ性能は?

省エネ基準達成率 100%以上

省エネ基準達成率	144%	年間消費電力量	76 kWh/年
目標年度2008年度		ワテックス XL-202-H	

この製品を1年間使用した場合の目安電気料金
1,670円

使用期間中の環境負荷に配慮し、省エネ性能の高い製品を選びましょう。

入力モードの設定

現在の入力モードが表示されます



■電源を入れた時、入力モードは「D-TV」モードになっています。本体の「電源スイッチ」またはリモコンの「外部入力切替」を押して、入力モードを切替えてください。
 ⇒D-TV→A-TV→CA-TV→AV の順に変わって行きます。

D-TV・・・デジタルテレビ
 A-TV・・・アナログテレビ
 CA-TV・・・ケーブルテレビ
 AV・・・オーディオビデオ



3秒以内を押すと、モードの変更を行います。
 ※長押し（3秒以上）の場合は電源が切れます。

電源説明シール



・電源 ON⇒電源スイッチを押す
 ・電源 OFF⇒電源スイッチを3秒以上押し続ける
 ・モード切替⇒3秒以内でスイッチを押す ON 状態時
 ・D-TV⇒A-TV⇒CA-TV⇒AV⇒D-TV... の繰り返しとなります

電源案内シール

- 『電源案内シール』は、電源の操作をお客様にわかりやすく知らせるためのものです。必要な場合にご使用ください。
- 『電源案内シール』を貼る場合は、上図を参照に貼り付けてください。

アナログ設定※

《設定メニュー》
 ウェルカム・メッセージ
 起動モード
 音響モード
 画質設定
 地上デジタル設定
 ⇒アナログ設定
 初期化
 終了
 [▼] [▲] 選択 [決定] で設定

《アナログ設定》
 ⇒チャンネル：01
 記録：オン
 オートサーチ
 戻る
 [▼] [▲] 選択 [決定] で設定

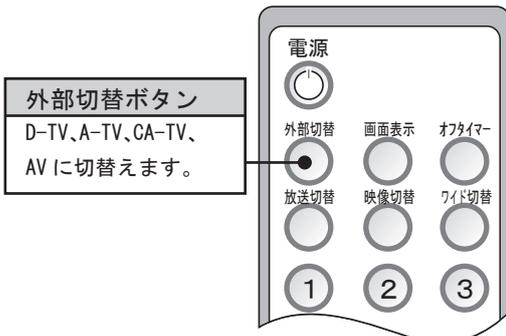
※「D-TV」モードでの設定は出来ません。

- ①リモコンの【メニュー】ボタンを押して << 設定メニュー >> を表示させます。
- ②(▲・▼)ボタンを押して矢印を移動し、「アナログ設定」に矢印を合わせて【決定】ボタンを押します。
- ③(▲・▼)ボタンを押して矢印を移動し、(◀・▶)ボタンを押して調整します。

チャンネル	調整したいチャンネルを選択します。
記録	「オン」で視聴可「オフ」で視聴不可になります。
オートサーチ	局の選局をします。
戻る	<<設定メニュー>>に戻ります。

リモコンの操作※XL-202 からの変更となります。

本取扱説明書 P13『リモコンの操作』の変更点です。



テレビを見るには

1. デジタル TV の選局

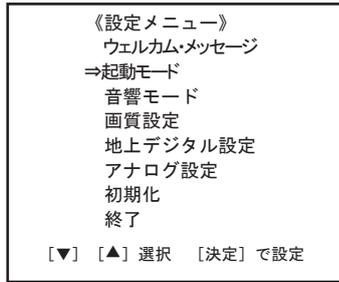
- ①外部切替ボタンを押し、D-TV モードに切替えます。
- ②リモコンチャンネルボタン CH(+, -) で選局またはリモコン3桁入力+チャンネル数字ボタン(000~999)で選局してください。

2. アナログ TV の選局

- ①外部切替ボタンを押し、A-TV(01~62 チャンネル)モードか、CA-TV(13~63 チャンネル)モードに切替えます。
- ②リモコンチャンネルボタン CH(+, -) で選局またはリモコンチャンネル数字ボタンで2桁で選局してください。

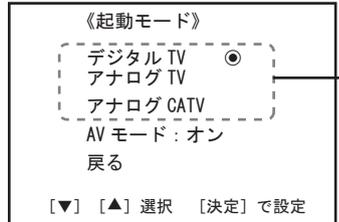
数字の0は、リモコンの「10」を押すと表示されます。

起動モードの選択



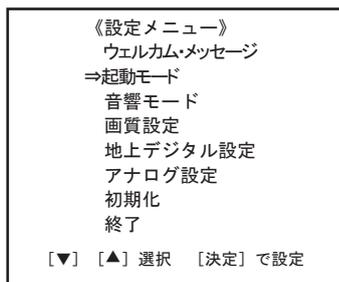
テレビを起動したときに表示される、テレビのモードを設定出来ます。

- ①リモコンの【メニュー】ボタンを押して<<設定メニュー>>を表示させます。
- ②(▲・▼) ボタンを押して矢印を移動し、「起動モード」に矢印を合わせて【決定】ボタンを押します。
- ③(▲・▼) ボタンを押して矢印を移動し、「デジタルTV」「アナログTV」「アナログCATV」の中から【決定】ボタンを押して、起動するモードを設定します。



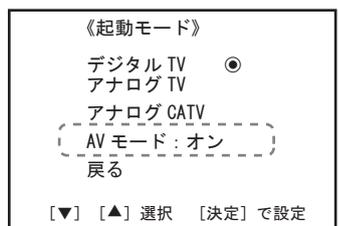
この中から
選択します

AVモードの選択



AVモードの表示のオン/オフを設定出来ます。

- ①リモコンの【メニュー】ボタンを押して<<設定メニュー>>を表示させます。
- ②(▲・▼) ボタンを押して矢印を移動し、「起動モード」に矢印を合わせて【決定】ボタンを押します。
- ③(▲・▼) ボタンを押して矢印を移動し、「AVモード」に矢印を合わせます。
- ④【決定】ボタンを押して、AVモードのオン/オフを選択します。



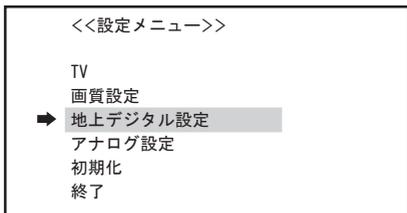
AVモード：オン … AVモードが表示されます

AVモード：オフ … AVモードが表示されません

● 選択したチャンネルをスキップさせる（ファームウェアバージョン j2.04 から）

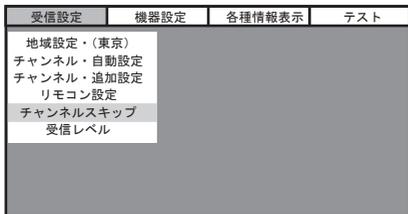
ファームウェアバージョン j2.04 から、チャンネルスキップ機能が新たに搭載されました。
設定方法は以下の通りです。

1. 地上デジタル設定の選択



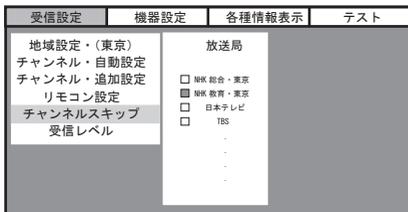
- ①『メニュー』ボタンを押してください
- ②『▲・▼』ボタンで『地上デジタル設定』を選択してください
- ③『決定』ボタンで決定してください

2. チャンネルスキップの選択



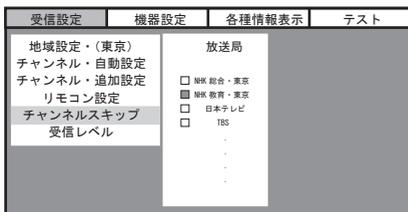
- ①『▲・▼』ボタンで『チャンネルスキップ』を選択してください
- ②『決定』ボタンで決定してください

3. チャンネルの選択



- ①『▲・▼』でスキップさせたいチャンネルを選択してください
- ②『決定』ボタンで決定してください

4. 設定の終了



- ①終了したら『メニュー』ボタンを押して、設定を終了させてください。
- ②チャンネルボタンを押した際、設定したチャンネルがスキップされます

この度は地上デジタル防水テレビ 20 型をご購入いただきまして、誠にありがとうございました。本説明書の記載に誤りがございましたので、下記の通り訂正と補足をさせていただきます。

注意

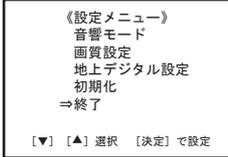
- ・ケーブルを引っ張ったり、押し込んだりしないでください。
- ・付属のリモコンは、お湯の中に入れてください。

AV ケーブルについて



付属品にあります「AV ケーブル」はオプション品となります。
 ※専用 AV ケーブルとなります。
 市販の AV ケーブルはご使用できません。

設定メニュー終了方法について（設定メニューの補足）



- ・(▲・▼)ボタンを押して矢印を移動し、「終了」に矢印を合わせて【決定】を押すと、設定メニューが終了します。
- ・リモコンの【メニュー】ボタンを押すと、設定メニューが終了します。

付属品について

付属品には以下の物も付属します。

M4	長さ 25mm	6 本
M4	長さ 10mm	2 本
リモコン用ビス		2 本
防水スポンジ		1 枚
六角穴付きボルト	長さ 10mm	2 本
L 型レンチ棒		1 本
リモコン用電池	リチウム	1 個

リモコンについて※誤記訂正

取扱説明書 9 ページ

<誤>	<正>
防水リモコン	リモコン

リモコン動作可能範囲について※誤記訂正

取扱説明書 12 ページ

<誤>	<正>

映像切替、ワイド切替について※誤記訂正

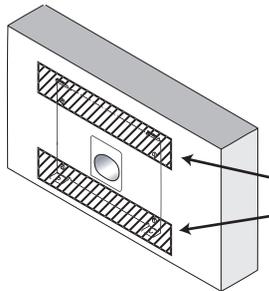
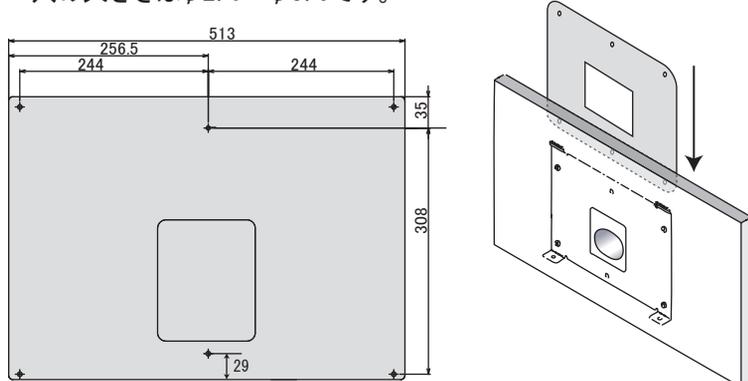
取扱説明書 13 ページ

<誤>	<正>

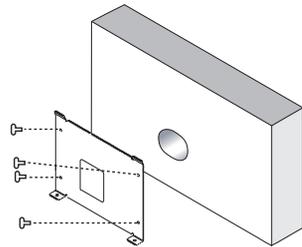
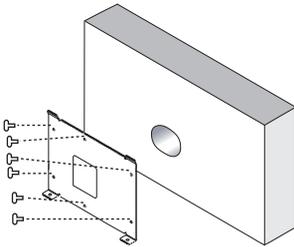
XL-202 補足説明書

この度は地上デジタル防水テレビ 20型 をご購入いただきまして、誠に有難うございました。本設置説明書の記載に誤りがございましたので下記の通り訂正と補足をさせていただきます。

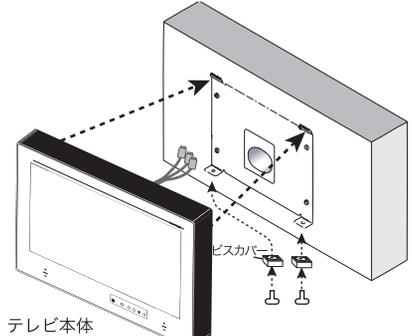
※壁パネル裏面への補強板の貼付

<誤>	<正>
 <p>斜線の裏面が、補強板取り付け位置です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・壁が薄くて補強が必要な場合は下図の様な鉄板をご用意ください。取付けは付属のステンレスの設置板と合わせて取り付けてください。 ・穴の大きさはφ2.6~φ3.0です。 

1 : 防水テレビ本体設置

<誤>	<正>
	 <ul style="list-style-type: none"> ・ビスを4本使用するような表現でしたが、実際にはビスを6本使用します。 ・ここで使用するビスの種類は「M4 長さ25mm」です。

2 : 防水テレビ本体設置



テレビ本体

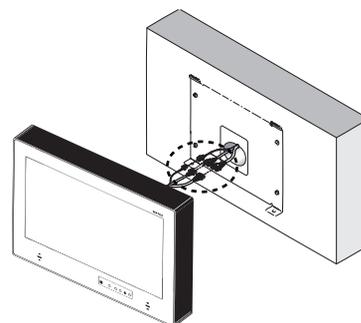
- ・ここで使用するビスの種類はM4 長さ10mmです。

※M4×10のナベタッピンネジ(2本)を取付ける際に、狭くてドライバーが入らない場合はM4×10六角穴付きボルトとL型レンチ棒で取付けてください。

⚠ 注意

コネクターについて

コネクターは防水ではありません。水のかかる所、湿度の高い場所は自己融着テープを巻き防水対策をしてください。



⚠ 注意



禁止

強い衝撃を与えたり、落下させないでください。
※動作・外観が正常な場合でも内部の止水構造が壊れている可能性があります。



必ず実行

施工はこの設置説明書に従って確実に行ってください。(感電、火災、水漏れの原因になります。)
※この設置説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障が生じた場合は商品の保証をしかねますのでご注意ください。



必ず実行

漏電遮断機が取り付けられている事を確認する
もし取り付けられていなければ電気工事店へ依頼して必ず取り付けてください。感電するおそれがあります。



アース線接続

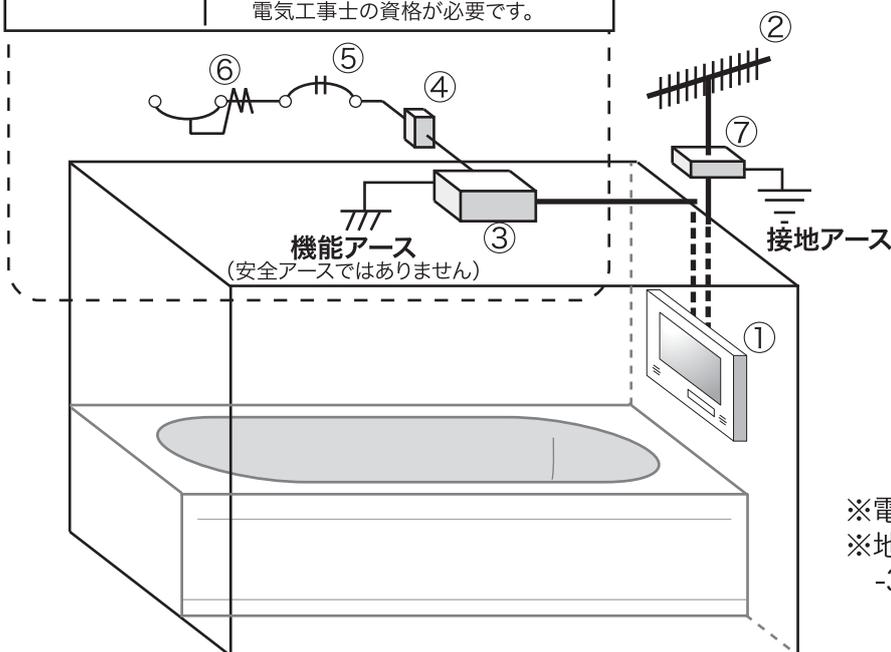
電気工事は、関連する法令・法規にしたがって、必ず『有資格者(電気工事士)』が行う。
接続や固定が不完全な場合は、火災や漏電のおそれがあります。

防水テレビシステム図(推奨施工図)



注意

工事の際は、必ず室内開閉機(ブレーカー)と漏電遮断機を設置してください。
※電気工事で配線します。
※室内開閉機(ブレーカー)の設置には、電気工事士の資格が必要です。



①地上デジタル防水テレビ(ワーテックス)

②UHFアンテナ

③電源ボックス*(ワーテックス)

④避雷器

参考例
HA-13:音羽電気KK

⑤室内開閉機(ブレーカー)

⑥漏電遮断機

⑦ブースターorアッテネータ

※電波が弱い場合はブースターを、電波が強い場合はアッテネータを使用して、適切な信号レベルに調整してください。

※電源ボックスが付かないタイプもあります。
※地上デジタル放送は $-58\text{dBm}(50\text{dB}\mu\text{V})$ 以上 $-30\text{dBm}(79\text{dB}\mu\text{V})$ 以下が必要です。



必ず実行

注意

・落雷に備えて、アンテナ設備にアースを取るか、保安器を必ず設置してください。

お願い

6mのアンテナ同軸ケーブルを用い設置を行う場合、他のAC電線と絡み合わない様に（少なくとも30cm以上離して）設置してください。

 **WATEX**
090120

お願い

6mのアンテナ同軸ケーブルを用い設置を行う場合、他のAC電線と絡み合わない様に（少なくとも30cm以上離して）設置してください。

 **WATEX**
090120